

豊橋市民病院だより

# 青竹

No.  
75

編集 3 病院広報紙編集委員会

委員長 河井 通泰

- P 2 平成30年の年頭に当たって
- P 3 新任医師の紹介
- P 4・5 腎臓内科からのお知らせ
- P 6・7 糖尿病週間イベント
- P 8 看護局から
- P 9 薬局から
- P 10・11 患者満足度調査
- P 12 提案箱



クリスマスコンサートのようす

## 平成30年の年頭に当たって

皆さん新年明けましておめでとうございます。本年が地域の皆様にとりましても、豊橋市民病院にとりましても素晴らしい一年になるように祈念したいと思います。

当院の2017年を振り返りますと、最大のトピックは総務大臣賞の受賞です。20年前の病院建設以来長らく赤字を計上してきた当院ですが、さまざまな経営努力によって平成22年度以後7年間黒字化を達成できたこと、会計制度の変更で累積欠損金が解消されたこと、さらに地域医療への貢献が評価され、一昨年度の自治体立優良病院表彰に続き、栄誉を戴くことができました。

次のトピックは、新しく開設した高度放射線棟です。長年の懸念事項であった放射線治療器の老朽化は、この施設によって空白期間なしに解消することができました。先進検査機器であるPET-CT、SPECT-CTの運用に加え、2台の最新式放射線治療器も無事稼働し、当医療圏の放射線診療の拠点への第一歩を踏み出しました。

既存の診療棟にも変化がみられています。いくつかの機能を放射線棟へ移行することで生まれたスペースを利用し、外来治療センターを広げベッドを5床増やすことができました。増床によって、限界に近かった利用者数に少し余裕ができ、患者さんの負担を軽減できるのではないかと思います。このほか、手狭であった新生児集中治療室を拡張し、不足していた職員用仮眠室を増室することができ、職員の労働環境が少し改善できました。医療機器としては、3台あるMRIのうち1台を12月に更新しました。

新たに迎える新年には、総合病院情報システム（電子カルテ）のグレードアップが行われます。7年前導入したシステムの更新であり、移行にあたり患者さんに混乱を招かないよう万全を期しております。この挨拶文が発行される時は無事稼働しているものと確信しています。

これらの設備投資や最新機器の導入は、年々変化する医療と地域のニーズに応えるべく、病院が進歩、発展するために必要な計画の一部であります。当院は、健全経営を背景に、今後もいくつかの設備投資を計画しており、引き続き「急性期病院」としての役割を果たしていきたいと考えています。

# 新任医師の紹介



1. 所属
2. 赴任日
3. 前任地
4. 趣味
5. その他自由 (抱負、自己PR、家族のこと、最近思うこと ほか)

## 山本 里美

(ヤマモト サトミ)



1. 血液・腫瘍内科
2. 平成29年10月1日
3. 名古屋大学医学部附属病院
4. バドミントン、ヨガ
5. 2年半振りに、7年間勤務した豊橋市民病院へ戻って参りました。再び、生まれ育った地域の医療に携われることを光栄に感じております。

私の専門は血液分野ですが、血液の病気と聞くと、耳にする機会も少なく戸惑う方もいらっしゃるかもしれません。専門医の一人として、分かりやすい説明と最善の治療ができるよう努めていきたいと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

## 毛利 康一

(モウリ コウイチ)



1. 一般外科
2. 平成29年10月1日
3. 名古屋第一赤十字病院
4. 手術
5. 子育て環境の整った豊橋で3人目の子供をつくることを目標にしています。もちろん仕事もがんばります。

## 溝上 雅也

(ミゾカミ マサヤ)



1. 消化器内科
2. 平成29年10月1日
3. 刈谷豊田総合病院
4. サッカー
5. 刈谷豊田総合病院から赴任しました。東三河の中核病院である豊橋市民病院で働ける事を嬉しく思っています。この地域の方に役立てる様頑張りますのでよろしく申し上げます。

## 伊藤 靖敏

(イトウ ヤストシ)



1. 皮膚科
2. 平成29年10月1日
3. 名古屋大学医学部附属病院
4. 美術鑑賞
5. 名古屋大学から赴任しました。昨年までご指導いただいたこの豊橋市民病院で再び働くことを嬉しく思っています。東三河の皆さんの健康維持に役立てるよう頑張りますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

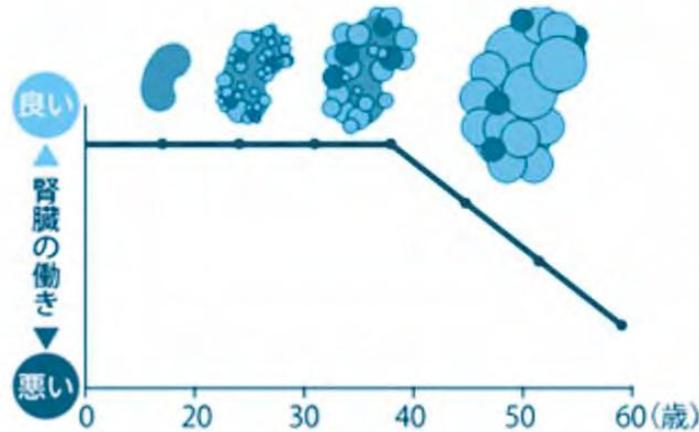
# 当院で常染色体優性多発性のう胞腎の治療が可能です!

## 1. 常染色体優性多発性のう胞腎とは?

腎臓にのう胞（液体をためた袋）が沢山できることによって腎機能が低下していく、最も頻度が高い遺伝性腎臓病です。

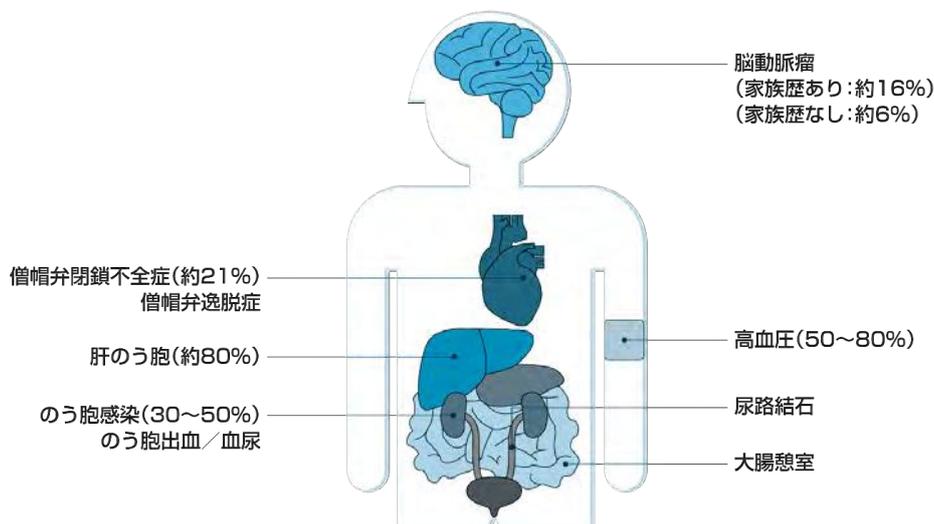
約50%の患者様が70歳頃までに末期腎不全に至り、透析や腎移植が必要になります。また、透析の原因となる病気では第4位となっています。

血縁者にこの病気の方がいるかどうかと、腎臓に多発するのう胞があるかどうか、診断のポイントです。



## 2. 腎臓以外の症状について

肝のう胞、高血圧、心臓弁膜症（心臓の弁の異常）、脳動脈瘤などを合併しやすいことがわかっています。そのため、定期的に各種検査を受けることが大切です。

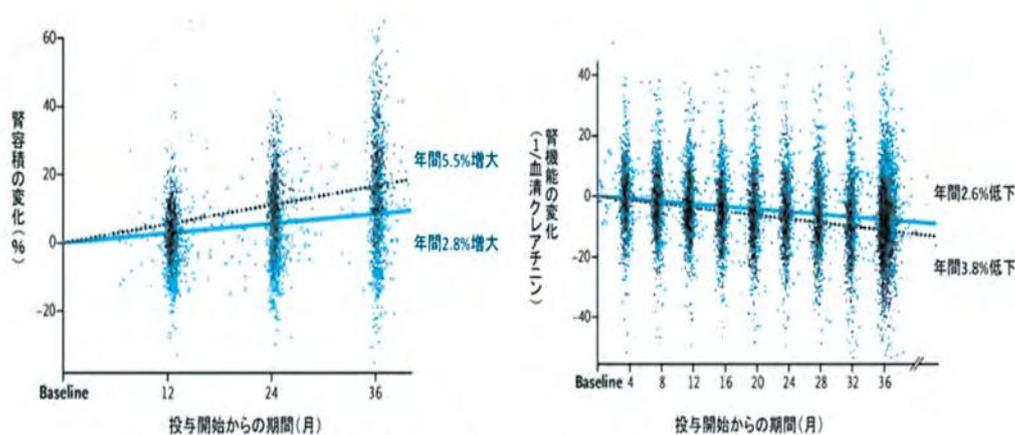


### 3.治療薬の紹介

2014年3月より、バソプレシン受容体拮抗薬（バゾプレシンの受容体に拮抗的に作用する薬）であるトルバプタンを、治療に使うことができるようになりました。

バソプレシンというホルモンがのう胞を増大させることがわかっており、その作用を抑えることで病気の進行を抑制することが期待されますが、全ての患者様に効果があるわけではありません。

また、投与を開始する際は入院が必要です。



青：トルバプタン投与患者 黒：偽薬投与患者

Torres, VE. et al.: N Engl J Med. 367(25), 2407-18, 2012 より引用

### 4.最後に

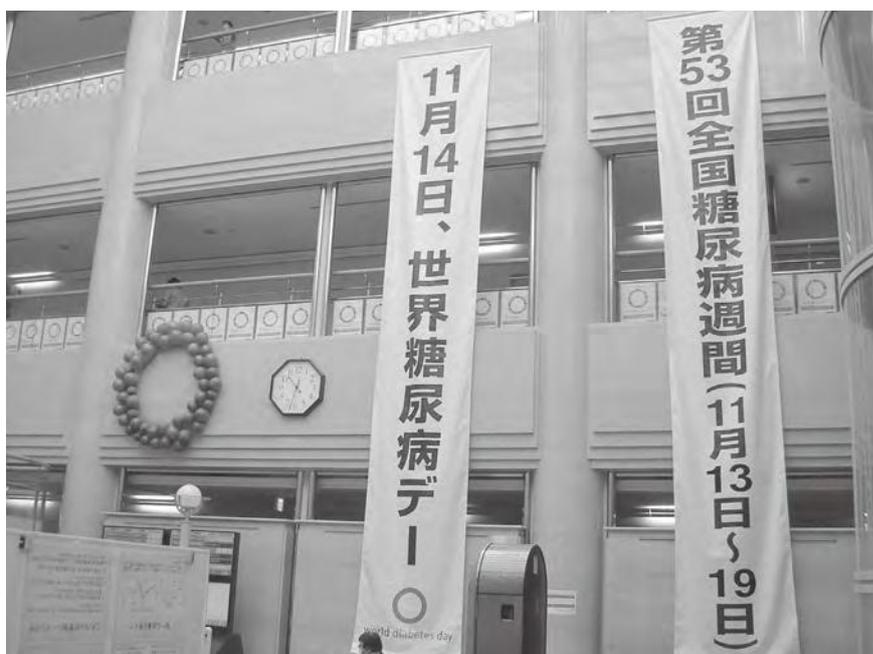
この病気を疑われましたら、まずは腎臓内科を受診して下さい。



# 糖尿病週間イベント

## 第53回全国糖尿病週間

去る11月13日（月）から19日（日）の一週間は「第53回全国糖尿病週間」でした。これに合わせて院内で公開糖尿病教室、体験型イベント（簡易血糖測定、血圧測定、合併症体験、フードモデルの展示など）、ブルーライトアップを行いました。この模様は、12月の市政企画番組でも取り上げられました。



現在、全世界の糖尿病人口は4億人を超え、有効な対策を打たなければ2045年には6億2900万人にも増加すると予測されています。世界の糖尿病に関連した医療費は年間82兆円にも及び、主要国の医療費の5-20%を占めることから、国際連合が11月14日を「世界糖尿病デー」に定め、各国にその

征圧に関する取り組みを求めています。



日本の糖尿病医療費は世界の第5位を占め、年間280億ドルとされています。糖尿病患者さんでは、日本人全体に比べて男性で8.2年、女性で



11.2年の寿命短縮が知られており、健康長寿のためには糖尿病の早期発見、早期治療が求められます。ところが、健診を受けないために自身が糖尿病であることを知らない人が、糖尿病有病者のうち半数を占めるとの調査結果もあります。

また、豊橋市民は愛知県全体と比較して野菜の摂取量が少なく、健診の受診率は各年代ともに低く、ちょっとした買い物にも車を使う割合が高いことがわかっています。それがどの年代においても血糖値の高めの方が多い（基準値以上が7～8割）理由と考えられます。

今回の体験型イベントには、未診断の人の早期発見につなげたい、糖尿病は恐ろしい病気で予防を心がけていただきたいという意味が込められています。

ぜひ皆さんには糖尿病の知識を正しく理解し、野菜をなるべく多く食べることに心がけて日頃の運動量を増やすことで糖尿病を予防していただくよう、お願いいたします。



## フレイルって何？

### フレイルとは？

高齢者が筋力や体力が低下している状態（脆弱）を「フレイル」と呼びます。

活動量が減る 握力が低下する  
体重が減る **フレイルの要素** 疲れやすい  
歩行が遅くなる



### フレイルはなぜ起こる？

フレイルのメカニズムを知ることによって予防が理解できます。



### フレイルを予防して健康な生活を送ろう

#### 1. 運動と栄養

高齢者においても運動療法によって筋力が維持される、といわれています。また筋肉をつけるために必要な良質なタンパク質を摂れるような食事をこころがけましょう。

#### 2. 持病のコントロール

持病のコントロールがされていないと高齢の方は体を動かすという気持ちになれないこともあります。



#### 3. 感染症の予防

日頃から適度な運動やバランスのよい食事などにより感染症に強い体作りをするだけでなく、手洗いやうがいを習慣にして感染症を予防しましょう。





## 睡眠薬の上手な飲み方（1）

不眠の原因は心理的なものが最も多く、それ以外にも薬剤、身体疾患、精神疾患など様々な原因によって起こります。不眠症は、不眠のタイプによって分類されます。

不眠のタイプ	症 状
入眠障害	寝つきが悪い
中途覚醒	眠りが浅く、途中で何度も目が覚めてしまう
早朝覚醒	早朝に目が覚めてしまう
熟眠障害	ある程度眠ってもぐっすり眠れたという満足感が得られない



### ★睡眠薬の種類と特徴

睡眠薬は、作用時間により分類され、不眠のタイプなどに応じて適切な薬が選択されます。

### 当院の主な睡眠薬

分 類	薬 品 名	作用時間	特 徴
非ベンゾ ジアゼピン系	ルネスタ錠	超短時間型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入眠障害に用いられることが多い。</li> <li>・翌朝まで薬の影響が残りにくく持ち越し効果（朝のだるさ、ふらつきなど）が少ない。</li> <li>・長期服用後、勝手にやめるとかえって不眠になることがある。</li> </ul>
	ゾルピデム酒石酸塩OD錠		
ベンゾ ジアゼピン系	ハルシオン錠	短時間型	
	ブロチゾラムOD錠		
	塩酸リルマザホン錠		
	ユーロジン錠	中間型	
ベンザリン錠、ネルボン散			
サイレース錠			
オレキシン 受容体拮抗薬	ベルソムラ錠	6～8時間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「覚醒を起こす部位」の働きを弱める。</li> <li>・効き始めるまでに10～15分。</li> <li>・依存性、耐性（効かなくなる）が少ない。</li> </ul>
メラトニン 受容体作動薬	ロゼレム錠	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・睡眠と覚醒のリズムを整える。</li> <li>・催眠作用は弱い（1週間以上連日服用）。</li> <li>・依存性、耐性（効かなくなる）が少ない。</li> </ul>

現在広く使われている睡眠薬は自然に近い眠りが得られ、副作用も比較的少なく安心して使えますが、非ベンゾジアゼピン系、ベンゾジアゼピン系の薬には、筋弛緩作用があり、ふらつくことがあります。

長期にわたって漫然と使い続けるのはよくありません。

医師の指導の元に適切に使用することが大切です。



# 平成29年度患者満足度調査の結果をお知らせします

患者満足度調査にご協力ありがとうございました。  
当院では、毎年、患者満足度調査を実施し、アンケート結果をもとに職員の接遇や施設環境などに対する不満を解消し、病院全体のサービス向上を図っています。その調査結果をご報告します。



## 入院部門

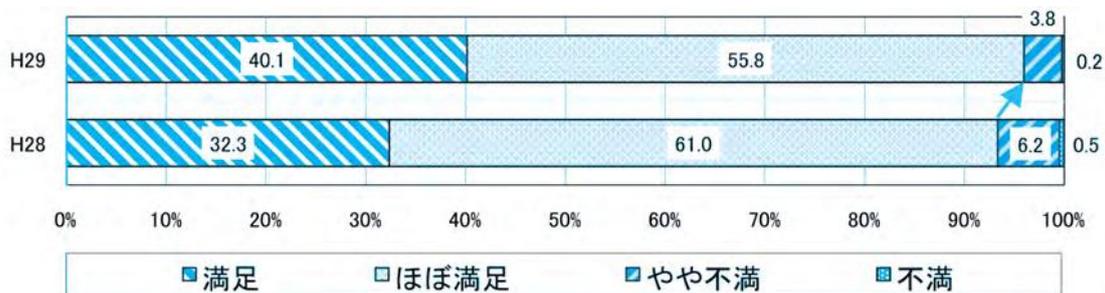
調査時期：平成29年7月10日から平成29年7月25日

回収数：457人／配布数517人

回収率：88.4%

## 【総評】

入院患者さんの総合的な満足度については、「満足」「ほぼ満足」は93.3%（平成28年度）から95.9%（平成29年度）と2.6ポイント増加しています。



入院の総合的な満足度については高い状況にあると考えています。

### <評価の高かった点>

「病室やトイレの清潔さ」「面会や消灯の時間」「スタッフの言葉遣いや態度」など。

「担当医との信頼関係」や「看護師では気軽に相談」の満足度も高く、これは入院生活が快適になり、早期回復にもつながると思われま。

### <評価の低かった点とその対応>

「プライバシーの確保や静けさ」「浴室やシャワーの利用回数・時間」「入院中の食事」など。

プライバシーの確保や「大きな声で話す」「携帯電話を病室で使用する」など静けさの問題については、患者さんや面会者のモラルが大きく関係しており、病院スタッフは機会があるごとに患者さんや面会者に周囲への配慮をしていただくよう、今後もお願いしていきます。

浴室やシャワー室の利用については、入浴時間などの制約により低い評価であると考えますが、病気療養中の体調に負担のない範囲内で要望を聞き、利用していただけるように取組んでいきます。

食事については、食事療法や薄い味付けに慣れるなど食習慣の改善を丁寧に説明することで満足度が改善したことが確認されているため、管理栄養士による栄養指導を行いながら、食事も病気治療の一環ととらえて味・栄養のバランスのとれた食事の提供を進めていきます。

## 外来部門

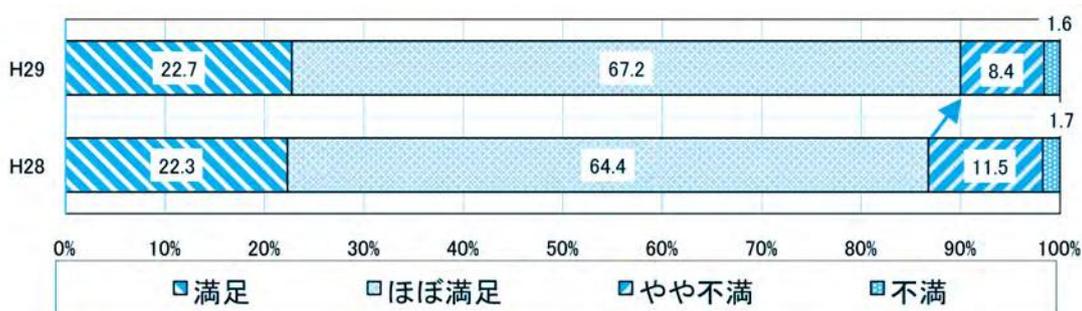
調査時期：平成29年7月10日から平成29年7月31日（配付期間：平成29年7月10日から5日間）

回収数：1,102人／配布数2,000人

回収率：55.1%

### 【総評】

外来患者さんの総合的な満足度については、「満足」「ほぼ満足」は86.7%（平成28年度）から89.9%（平成29年度）と3.2ポイント増加しています。



外来の総合的な満足度については高い状況にあると考えています。

#### <評価の高かった点>

「トイレの清潔さ」「院内の案内表示」「担当医や看護師の言葉づかいや態度」「担当医の治療・病状・検査に関する説明」など。

#### <評価の低かった点とその対応>

「携帯電話使用許可区域の設置数」「車いす使用者専用駐車場と歩行困難者用駐車場の混雑」「診察までの待ち時間」など。

携帯電話使用許可区域が足りていないとの声が少なからずあるのは、待ち時間にスマートフォンなどを利用したい方が増加していることによるものと推察されます。今後は、診察に影響のない範囲内で、携帯電話使用許可区域の設置数の拡大を図っていくことを考えていきます。

車いす等の専用駐車場の混雑については、病院という場所柄使用する方が多く、警備員の啓発により適正に利用されるように努めます。

診察までの待ち時間については、診療科ごとの1人当たりの診察時間や予約なし再診患者さんの受診状況などを精査し、無理のない診察予約を実施していきます。また、診察の状況に応じて待ち時間が発生することを受診案内や案内表示システムなどで周知するとともに、案内情報（電子掲示板）に配信するコンテンツを増やすなど負担軽減を図ります。他には負担軽減策として、スマートフォンや携帯電話への呼出し通知等が行えるシステムを導入し、診察時間まで席を離れていても待ち時間を有効に活用できる環境整備の実現を図ります。

## その他

病院広報としては、平成28年12月に当院の情報をより多く、より分かりやすく提供できるようホームページをリニューアルしました。

詳しい調査結果は当院ホームページでご確認ください。

<https://municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp/about/report/>

# 提案箱

提案を活用させて頂きました



## 提案書への対応状況報告

【所属：管理課】

提案日 平成29年8月

病院内にあるコーヒーショップ（カフェド・クリエ）の件ですが、車いすでの入店が難しい。病院なので、車いすの患者が多いのに、車いすでの入店が非常に困難です。もっと気配りをするべき。町のコーヒー店ではない。非常に不愉快。車いすでの入店者にもっと気配りをする必要がある。

対応  
内容

喫茶店にこのお話をさせていただき、患者に合わせた対応をとるよう指導いたしました。貴重なご意見ありがとうございました。

【所属：放射線技術室】

提案日 平成29年9月

レントゲン室の検査着がSサイズしか置いてなかった。ピチピチで困ったので、大きいサイズも置いてほしい。患者は痩せた方ばかりではないです。

対応  
内容

通常、一般撮影室にはMサイズを多めにS～4Lまで揃えてあります。総数で400枚程度用意していますが、1日100枚程度を洗濯に回していますので、タイミング的に大きめのサイズが足りなかったと思われます。今後は、各撮影室に各サイズごとバランスよく配置するよう点検します。

## ◆ 豊橋市民病院の理念 ◆

信頼に応える技術、人に優しい思いやりのある心、地域に開かれた安らぎのある病院

## ◆ 豊橋市民病院の基本方針 ◆

1. 地域に開かれた信頼のある病院、患者に優しい思いやりのある医療を目指します。
2. 地域の基幹病院としてふさわしい高度な医療を提供するとともに、特殊医療、救急医療等を積極的に受け持ちます。
3. 基幹病院としての役割を担いながら、他の医療機関との間の有機的な連携のもとに当院の行うべき医療活動を推進します。
4. 医学及び医療技術の研鑽に努めるとともに、医学・医療の進歩に寄与します。
5. 研修医、医学部学生、看護学生、コメディカル、救急救命士などの教育を積極的に行います。
6. 地域住民の保健知識の普及に努め、健康増進活動に参加します。
7. 公共性と経済性を考慮し、健全な病院経営に努めます。
8. 安全医療の推進に努めます

当院のご案内は下記でも行っています。併せてご覧下さい。

豊橋市民病院インターネットホームページアドレス

<https://www.municipal-hospital.toyohashi.aichi.jp/>

